

これまでの検討会で出された御意見への対応について

優良特定地球温暖化対策事業所の認定制度に係る検討会（第1回）
令和5年7月27日（木曜日）16：00～17：30
オンライン会議

1 令和4年度第3回トップレベル検討会での各委員からの御意見と対応の考え方

(1) 具体的な評価項目（新設項目分）

- 加点項目の評価基準については、現在の事業所の取組状況の分析だけでなく、都が望む水準から作成しても良いのではないか
- IVのデマンドレスポンスの評価項目について、事業所規模を踏まえた上げDRの設備容量の水準を検討する必要がある
- 良質な再エネの評価について、バイオマス以外の再エネについても、持続可能性等の評価を検討した方が良いのではないか

➡ 評価項目の具体的な内容や詳細な基準等について、御意見も踏まえて引き続きガイドライン等の作成に合わせて検討

(2) 事務手続きの負担軽減

- 根拠書類の作成方法の見直しに関して、コミショニング等の運用対策は、検証の信頼性を担保しながら見直すことが重要
- 抜き打ちのサンプリングは、適切な頻度とすることで信頼性を担保してほしい

➡ 認定の信頼性を確保しつつ、認定申請等の手続全体での負担軽減となるように、引き続きガイドライン等の作成に合わせて検討

2 第6回専門的事項等検討会での各委員からの御意見に対する対応

(1) 新たな認定区分・認定ルート

- パブリックコメント時の参考資料として、建築物環境計画書制度と連携した認定ルートにおけるPAL*低減率（BPI）、ERR（BEI）、未評価技術の得点換算方法や新たな評価基準での配点の考え方等が分かる資料を入れてほしい
- パブリックコメントでは、制度改正前後の得点変化のシミュレーションを参考として提示すると良いのではないか

(2) 新たな評価項目

- パブリックコメントでは、新たな必須評価項目が明確に分かるように示した方が良い

➡ 資料中に上記の内容を記載し、パブリックコメントを実施